

思い出のIまいのキャプション
—写真の中は、みんな「途中」

Class_____ No._____ Name_____

 **今日のゴール**

思い出のIまいの「そのとき」を、**was / were ～ing** のキャプションで説明できるようになろう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

体育祭のIまい

① In this picture, we **were dancing** for the sports day.

② Aoi **was holding** the flag. (まん中の子)

③ I **was looking** the wrong way. (それがわたし)

▼ シャッターのしゅんかんを when で足す

When the teacher **took** this picture, we **were still dancing**.

写真にうつっているのは「している途中」。だから説明は was / were+動詞のing形で、過去形 (took) はシャッターのしゅんかんだけ—2つの形の役割のちがいがIまいの中に出る。

STEP 2 使える表現（この中から選んで使おう）

In this picture, ~.

I was ~ing.

We [They] were ~ing.

~ was ~ing.

When ~, ... was ~ing.

What were you doing?

Were you ~ing?

Yes, I was. / No, I wasn't.

still (まだ)

STEP 3 思い出のIまいをえらんで（心の中のIまいを絵にかいてもよい）、うつっている人ごとに「している途中」をメモしよう。

れい：体育祭／合唱祭／部活の大会—きめ顔より、動きの途中のIまいが書きやすい

	だれ（自分・友だち・先生・もの）	している途中のこと（日本語でよい）
①		
②		
③		
	シャッターのしゅんかんに起きたこと（when 用）	

STEP 4 メモを英語にしよう。①～③は was / were ～ing のキャプションに、さいごに〈When + 過去形の文, ... was ~ing.〉のしゅんかんのI文。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

思い出の1まいのキャプション
—写真の中は、みんな「途中」
【つたえる・ふりかえる】

Class_____ No._____ Name_____

STEP 5 写真を見せる前に、キャプションだけ読み合おう。

できたらチェック：

- ☐ ① 写真（絵）は見せずに、キャプションだけ声に出して読む
- ☐ ② 聞き手は場面を思いうかべて質問する（What were you doing? / Were you ～ing?）
- ☐ ③ 質問に2つ答えたら、写真（絵）を見せて答え合わせ—思いうかべた場面と、どこがちがった？
- ☐ ④ 相手のキャプションで、いちばん場面が「見えた」1文に○

質問されて言い足した ～ing の文	相手の「見えた」1文をメモ

自己評価 できたところに ○ をつけよう（正直に！）

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 人だけでなく「もの」も主語にしてみよう。The flag was waving in the wind.（旗も、写真の中では動いている途中）—高校入試の絵・写真描写問題の、これが第一歩になる。

先生へ（この教材のねらいと進め方）

ねらい：過去進行形を「昨夜8時の言いかえ練習」で終わらせない。写真は動きの途中を切り取ったもの—だから写真の説明は was / were ～ing でしか書けない。この見方を渡すと、過去進行形が「写真のための形」として必然になる。導入（みんなの20時）→定着ドリル→この1枚で一本道になる。

この材料を選んだ理由：「昨日の8時に何をしていましたか」は導入で済んでいる。キャプションは過去形では書けない（過去形は結果を言う形で、写真には途中がうつっている）。体育祭・合唱祭など行事の直後に置くと、書くことが尽きない。

対応単元：ONE WORLD 2 Lesson 2「Energy Sources for Our Future」=when節と過去進行形が同居する単元で、〈When＋過去形、… was ～ing.〉までこの1枚で回収できる。when節が未習の教科書では、STEP 4 は①～③の3文までにして、しゅんかんの1文は口頭のお手本にとどめる。

進め方・見取り：写真は実物がなくてよい（心の中の1まいを絵にかく）。個人情報に気になる学級では「絵にかく」へ統一する。見るのは、主語と was / were の一致／when 節の中が過去形か（×When he was taking this picture）／主語が I ばかりになっていないか（友だち・先生・ものへ広げると文が増える）。評価は裏面の4観点で。

△ 使う文法の範囲：中1の既習＋過去形・過去進行形・when 節だけで組んでいます。不定詞・動名詞（ONE WORLD 2 は Lesson 3 初出）・受け身・比較は使いません。